

平成29年度

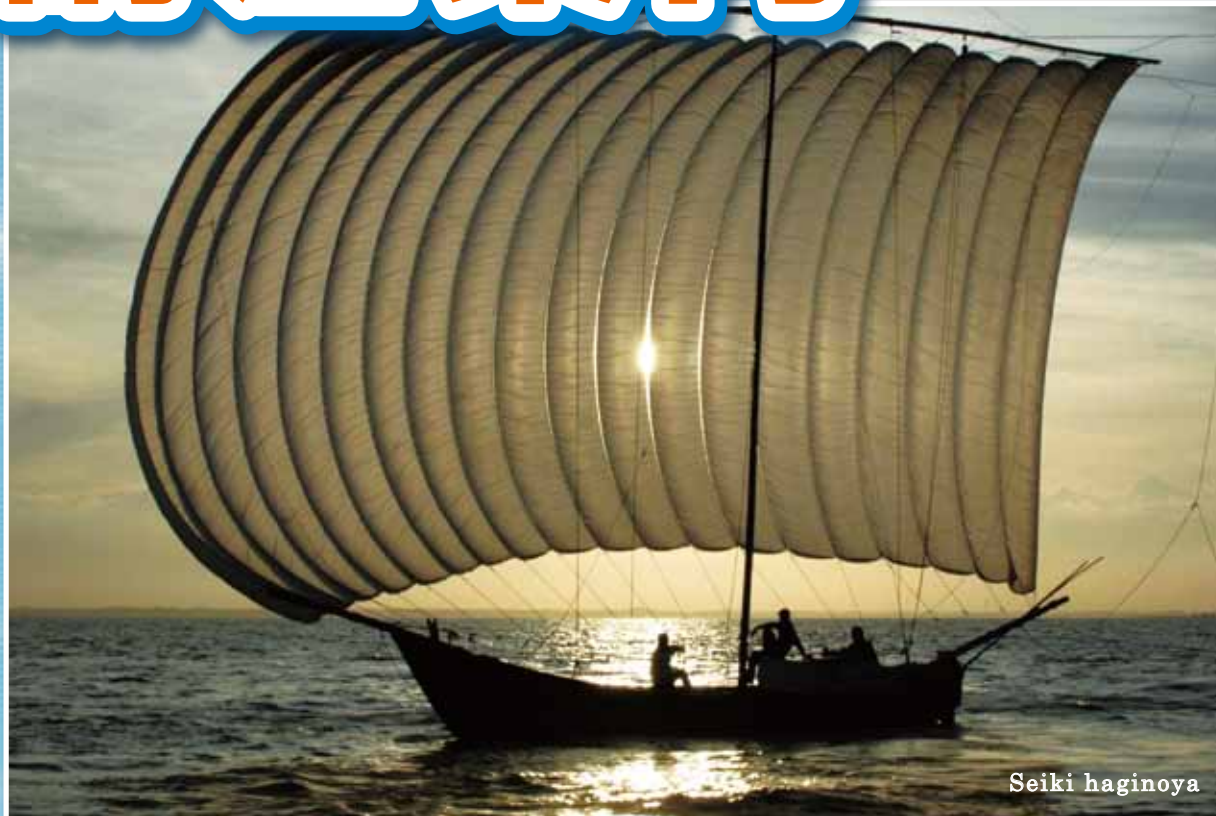
11月1日は...
いばらき教育の日

茨城県県南生涯学習センター

講座案内

申込期間

平成29年
8月1日(火)～9月5日(火)



Seiki haginoya

茨城県弘道館アカデミー 県民大学講座(後期)・天章堂講座

火	午後	○ ルネサンス思想からイタリア美術を読み解く ～レオナルド・ダ・ヴィンチとその時代～
水	午後	○ 生活習慣を整え, 健康な体づくり ～病気にならない予防栄養学～
木	午前	○ 茨城歴史の散歩道 ～奈良時代から大正時代までを歴史的エピソードから学ぶ～
		○ 海の生き物の多様性と分類学 ～謎多き深海生物の新種発見まで～
	午後	○ 人類の飽くなき挑戦 2017 ～ふしぎで楽しい宇宙の生活～
		○ 日本一の技術士たちが語る ～世界に誇る茨城の技術～
		○ 基礎からわかる「江戸学」入門 ～江戸庶民の暮らしあれこれ～
金	午後	○ 「絵画」とは ～絵画表現の成り立ちについて制作者の立場から多角的に考察する～
		○ 世界湖沼会議を学ぶ ～人と霞ヶ浦の共生を考える～ (会場: かすみがうら市霞ヶ浦中地区公民館)
		○ ワインができあがるまで ～日本初の本格的ワイン醸造場, シャトーカミヤ～
土	午前	○ 映画からまなぶ世界 ～その魅力をとことん味わう～
	午後	○ ハイテク機器の生命線レアアースを探る

① 生活習慣を整え、健康な体づくり ～病気にならない予防栄養学～

環境・健康コース

曜日 水曜日

時間 14:00 ～ 16:00

回数 5 回

受講料 ¥3,000

講師 つくば国際大学

心身ともに健康で元気に生きていたい、と誰もが願っています。しかし、多くの人は年とともに体のどこかが何となく不調になり、健康への不安が生じてきます。病気を予防するために大切なことは、毎日の生活習慣を整えること、そして病気や健康診断の検査結果について正しい知識をもつことです。

今回の講座では、生活習慣の予防のための栄養と食事、健康診断の検査結果の見方、中高年女性の健康支援、美味しい料理で健康に暮らす、病気を予防する運動など、健康で元気に生活を送るために役立つ知識についてお話します。

① 11/1 生活習慣病予防のための栄養と食事

保健栄養学科 教授 武 敏子

② 11/8 健康診断「検査結果の見方・読み方」

臨床検査学科 准教授 難波 俊二

③ 11/15 中高年女性の健康支援

看護学科 教授 大槻 優子

看護学科 講師 中田 久恵

看護学科 助手 額額 祐子

④ 11/22 健康は美味しい料理が持ってくる

保健栄養学科 教授 岸本 亨

保健栄養学科 教授 吉田 恵子

⑤ 11/29 病気や障害を予防するための運動

理学療法学科 准教授 小林 聖美

「イバふる塾」※

② 茨城歴史の散歩道 ～奈良時代から大正時代までを歴史的エピソードから学ぶ～

芸術・文化・歴史コース

曜日 木曜日

時間 10:00 ～ 12:00

回数 10 回

受講料 ¥5,000

講師 茨城地方史研究会 会長 久信田 喜一

奈良・平安時代から明治・大正時代までの茨城の歴史について、各時代ごとに歴史的エピソードを中心に解説します。

はじめに律令制度について解説しながら、奈良・平安時代の茨城の人々生活や茨城という地名の由来や土浦周辺の様子を解説します。

次に平将門の乱以後の茨城の様子、次いで古河公方の盛衰と佐竹氏による常陸統一までを解説します。さらに江戸時代の茨城について、土浦藩・古河藩・結城藩などの諸藩の動きを解説し、県南地方の地域文化の発展について、からくり伊賀七の生涯と功績を中心に解説します。また、一橋慶喜・水戸藩本岡寺勢などの動きを中心に大政奉還から明治維新までの歴史の動きについて解説します。

最後に飯村丈三郎・関戸寛蔵・豊田英雄など明治・大正期に活躍した茨城の偉人について解説します。

① 11/23 律令制度の成立と常陸国

② 11/30 『常陸国風土記』と茨城の由来

③ 12/7 土浦周辺の古代史

④ 12/14 平将門の乱と平氏の繁栄

⑤ 12/21 小田城と小田氏の盛衰

⑥ 1/11 古河公方と戦国時代の常陸

⑦ 1/18 幕藩体制の成立と県南諸藩

⑧ 1/25 科学の発展とからくり伊賀七

⑨ 2/1 大政奉還から明治維新へ

⑩ 2/8 明治・大正期の茨城の偉人

③ 海の生き物の多様性と分類学 ～謎多き深海生物の新種発見まで～

社会・教育・福祉コース

曜日 木曜日

時間 10:00 ～ 12:00

回数 5 回

受講料 ¥3,000

講師 茨城大学理学部生物科学コース 助教 岡西 政典

「この地球上にどのような生物がいて、それぞれがどのように関係しているか。」ということを表す用語を「生物多様性」といいます。生物多様性を知る事は、地球の歴史や地球環境の保全を考える上で重要です。とりわけ、海の生き物は陸に比べて多様性が高いといわれており、様々な形のものが生息していますが、研究が進んでおらず、まだまだその一部しか把握できていません。

本講座では、謎多き深海生物を主な研究対象としてきた講師の経験を踏まえながら、海の生き物の多様性とその骨組みとなる分類学について、みなさんにご紹介します。

① 10/12 多様性を知るための準備 ～分類学とは～

② 10/19 海の生物と海洋環境

③ 10/26 海の生物の紹介①

④ 11/2 海の生物の紹介②

⑤ 11/16 海の生物の研究と保全を考える

④ 人類の飽くなき挑戦2017 ～ふしぎで楽しい宇宙の生活～

社会・教育・福祉コース

曜日 木曜日

時間 14:00 ～ 16:00

回数 5 回

受講料 ¥3,000

講師 宇宙アカデミーさくやま 代表（元種子島宇宙センター所長） 菊山 紀彦

人間が長期間、宇宙で暮らすためには、空気、水、食料、着替えなどを地上から国際宇宙ステーションに補給することが必要となります。

この講座は、宇宙の暮らしと地上の暮らしの違いや宇宙生活をするために宇宙飛行士が受ける訓練、宇宙ゴミへの対応、日本人宇宙飛行士の活躍について紹介します。

① 10/5 アポロ計画から国際宇宙ステーションへ

② 10/19 ここまで来た日本の宇宙開発

③ 11/2 ふしぎで楽しい宇宙の暮らし

④ 11/16 人類は宇宙人への階段を昇り始めた

⑤ 11/30 日本人宇宙飛行士の活躍



「イバふる塾」※

⑤ 日本一の技術士たちが語る ～世界に誇る茨城の技術～

産業・技術・科学コース

曜日 木曜日

時間 14:00 ～ 16:00

回数 10 回

受講料 ¥5,000

講師 日本技術士会 茨城県支部

茨城県は、魅力度ワーストで話題となっている昨今です。しかし、奈良時代の常陸の国は「常世の国」と呼ばれるほど豊かな地域であったようです。

さらに、最近の統計資料によれば、県民1人あたりの所得は、全国4位と上位にあり、製造品出荷額も全国8位と豊かな地域であることが示されています。

この講座では、茨城県が誇る代表的な「日本一」を生み出している各々のコア技術を紹介し、「科学・技術立県いばらき」の方向性を考えます。

① 10/12 水戸藩の反射炉技術

② 10/26 蒸気タービン制御のデジタル化と発電電力の調整

③ 11/9 エレベーターの技術史と安全性

④ 12/7 身近な冷凍空調技術と最近の話題

⑤ 12/21 見えない物の量を量る技術 ～漢方薬を事例に

⑥ 1/11 X線では観えないものを観る ～中性子照射利用～

⑦ 1/25 最新養殖技術 ～チョウザメを事例に～

⑧ 2/8 MRI、リニア鉄道等の超電導技術

⑨ 2/22 建設機械とこれら機械に用いられる油圧技術

⑩ 3/1 トンネル技術

情報工学部門 加藤木和夫

電気電子部門 本田 永信

電気電子部門 三井 宣夫

機械部門 中村 啓夫

化学部門 小幡 竜弘

機械部門 岸 敦夫

水産部門 平岡 潔

金属部門 酒井 修二

機械部門 宇田川 勉

建設部門 水野 哲

※「イバふる塾」とは「イバラキふるさと学習塾」の略で、茨城県の歴史や郷土の先人たちの偉業等を知っていただくことで、人間力を学ぶことのできる講座を称しています。

⑥「絵画とは」～絵画表現の成り立ちについて制作者の立場から多角的に考察する～

芸術・文化・歴史コース

曜日 金曜日 時間 14:00～16:00 回数 10回 受講料 ¥5,000 講師 筑波大学 芸術系 准教授 福満 正志郎

絵を描く楽しみは誰でも享受できるもので愛好者も増えていきます。「物を観て描く」、「空想して描く」、「自己の内的な思いを描く」など、表現内容は様々です。また、自分は描かなくても展覧会等での絵画鑑賞もすばらしいことです。

一枚の絵画作品が出来るまでには、「発想」、「表現内容」、「表現技法」などが「創造の過程」を経て結実します。絵画制作者としての立場から美術史上の様々な作品の実例を挙げながら、そのような絵画の成り立ちについて考えていきたいと思っています。「絵を描くこと」、「絵を鑑賞すること」の両者においても、「絵画とは？」を考えるひとつの契機になればと考えています。

- ① 11/17 「絵画とは」－構想とは何か－
- ② 12/1 創造論と創造の過程について
- ③ 12/15 見ることに ついて－視覚芸術の根底－
- ④ 12/22 ドローイング－発想の契機として－
- ⑤ 1/12 自身の絵画制作について－構想・制作から完成まで－
- ⑥ 1/19 造形を基本とする構想①－線・形態－
- ⑦ 1/26 造形を基本とする構想②－色彩・マチエール－
- ⑧ 2/2 自然に基づく構想
- ⑨ 2/9 人間の内面を表す構想①－情念・幻想－
- ⑩ 2/16 人間の内面を表す構想②－詩的・文学的－



⑦ ハイテク機器の生命線レアアースを探る

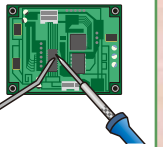
産業・技術・科学コース

曜日 土曜日 時間 14:00～16:00 回数 5回 受講料 ¥3,000 講師 国立科学博物館 地学研究所 宮脇 律郎

産業のビタミンとも言われる「レアメタル（希少金属）」の中から、「レアアース（希土類元素）」を取り上げて、生活や産業そして学術の場面での利用のされ方を、複数の第一線の講師陣により多面的に紹介します。古くはガス灯に、懐かしいブラウン管カラーテレビに、蛍光灯、そして近年ではLEDなどに使われる光る素材として活躍。ハイブリッドカーに代表される強い磁石材料としても注目を浴びています。身の回りで様々な活躍する具体例や、それらの資源確保の話題を交え、レアアースがもたらす地球の生い立ちの手がかりなどを、5回にわけてそれぞれの専門家がお話しします。

- ① 12/9 「身の回りのレアアース」 宮脇 律郎
- ② 12/16 「南鳥島レアアース泥の資源開発」 加藤 泰浩
- ③ 1/13 「世界の風化型希土類鉱床」 実松 健造
- ④ 1/20 「レアアースが語る地球の進化」 星野美保子
- ⑤ 1/27 「レアアースの素顔（まとめ）」 宮脇 律郎

東京大学エネルギー資源フロンティアセンター 加藤 泰浩
産業技術総合研究所 実松 健造
地質資源環境研究部門 星野美保子



天章堂講座 会場 茨城県県南生涯学習センター 募集期間 平成29年8月1日(火)～9月5日(火)

⑧ ルネサンス思想からイタリア美術を読み解く ～レオナルド・ダ・ヴィンチとその時代～

曜日 火曜日 時間 14:00～16:00 回数 5回 受講料 ¥3,000 講師 茨城大学教育学部 教授 甲斐 教行

ルネサンスとは古代文化の再生を意味し、古代ギリシア・ローマの哲学・思想とその世界観（プラトン主義、ストア主義、エピクロス主義、懐疑主義など）が熱心に学ばれ、知識人により共有されました。それにより当時の美術作品を、現代の視点からではなく当時の人々が備えていた教養に基づいて読み解く試みはひとつの有効な視点となりえます。本講座ではまず作品の主題を読み解くための基礎知識（図像学と図像解釈学）を確認したのち、ヴェネツィア派の画家ジョヴァンニ・ベッリーニ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、マニエリスム画家ポントルモとブロンズーノの作品や、15～16世紀の肖像画群などを、同時代思想に基づいて解釈します。

- ① 12/5 図像学入門・ジョヴァンニ・ベッリーニとエピクロス主義
- ② 12/12 レオナルド・ダ・ヴィンチとルネサンス思想
- ③ 1/10 ポントルモとブロンズーノ
- ④ 1/23 15世紀の暗地背景肖像画
- ⑤ 2/6 16世紀の「ベトラルカ風」肖像画



事前購入テキスト 税込2,916円
カルロ・デル・ブラーヴォ『美の顕現——ルネサンスの美術と思想』（甲斐教行訳 中央公論美術出版 ISBN978-4-8055-0773-5）

⑨ 基礎からわかる「江戸学」入門 ～江戸庶民の暮らしあれこれ～

曜日 木曜日 時間 14:00～16:00 回数 10回 受講料 ¥6,000 講師 成城大学 非常勤講師 小沢 詠美子

「江戸」は時代劇や歴史小説でおなじみですが、実は間違っって描かれていることも少なくありません。現在の東京都全域が江戸に含まれていたわけではありませんし、「3代住めば江戸っ子」というわけでもありませんでした。本講座では、江戸に暮らしていた人びとの生活や娯楽、文化などの実態を明らかにし、そこからわれわれ現代人が学ぶべきことを、考えていきます。

- ① 10/5 「江戸」の誕生
- ② 10/19 江戸っ子の条件
- ③ 11/2 江戸っ子と「いき」
- ④ 11/16 長屋の暮らし
- ⑤ 12/7 湯屋と髪結床
- ⑥ 12/21 豊かな食文化
- ⑦ 1/11 盛り場の発展
- ⑧ 1/25 吉原遊郭の世界
- ⑨ 2/8 活性化する情報文化
- ⑩ 2/22 災害都市・江戸の実態

⑩ ワインができればまで ～日本初の本格的ワイン醸造場、シャトーカミヤ～

曜日 金曜日 時間 14:00～16:00 回数 5回 受講料 ¥3,000 講師 牛久市教育委員会文化芸術課文化財グループ 主任 木本 挙周

ブドウから生まれた奇跡の飲み物「ワイン」は、今や世界中で多くの人々に愛されています。日本でも国内外産問わず多くの銘柄が店頭に並び、気軽に楽しむことができるお酒です。しかし、ワインの歴史やできあがるまでの製造過程などは意外と知られていません。

本講座では、ワインの製造過程やワインの歴史のほか、牛久市にある明治36年に建てられた日本初の本格的ワイン醸造施設である国指定重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設の歴史や東日本大震災の災害復旧工事の様子について紹介します。また講座最終日には、シャトーカミヤの非公開部分を含む重要文化財建物内を見学するとともに、ワインも試飲してワインの知識を深めていただきます。

- ① 10/27 ワインの世界 ～ブドウの多様性とワインができるまで～
- ② 11/10 ワインの歴史
- ③ 11/24 日本ワインの歴史と現在
- ④ 12/8 シャトーカミヤ旧醸造場施設の歴史と災害復旧事業
- ⑤ 12/22 【現地見学】シャトーカミヤ旧醸造場施設 ※現地集合・解散

保険料50円 現地研修飲食費1,500円



⑪ 映画からまなぶ世界 ～その魅力をとことん味わう～

曜日 土曜日 時間 10:00～12:00 回数 5回 受講料 ¥3,000 講師 310+1 シネマプロジェクト 代表 寺門 義典

1895年にフランスのリュミエール兄弟がシネマトグラフを発明し、日本に映画が上陸したのが1897年のことでした。それから120年。大衆に愛された数多くの「映画」が世界中の歴史や文化を描き続けてきました。本講座は「世界の窓」とも言える「映画」を題材にして、茨城・日本・世界の歴史や文化、時代背景を読み解きます。

- ① 10/28 「映画」にまつわるよもやま話
- ② 11/4 「世界の窓」、映画。～日本映画から洋画まで～
- ③ 11/18 映画でまなぶ「日本」～深作欣二監督作品から時代を読み解く～
- ④ 12/2 映画でまなぶ「世界」～インド映画から文化を読み解く～
- ⑤ 12/16 映画でまなぶ「茨城」～茨城をテーマにした映画を読み解く～

寺門義典
寺門義典
寺門義典・谷田部智章
寺門義典・山田タボシ
寺門義典・谷田部智章・山田タボシ

※テキスト代金、保険料等は講座開始初日にお支払いください。

12 世界湖沼会議を学ぶ ～人と霞ヶ浦の共生を考える～

国際関係コース

曜日 **金曜日**

時間 **14:00 ～ 16:00**

回数 **5 回**

受講料 **¥3,000**

霞ヶ浦は「常陸国風土記」の時代には多くの海水魚が生息する内海でした。長い間に鬼怒川や小貝川による堆積の影響から、海水の流入が妨げられ、淡水が混じりはじめ、汽水湖としての性格を強めていったと考えられます。その後、利根川東遷事業などいくつかの治水事業を経てきましたが大洪水にもあってきました。戦前に計画された「霞ヶ浦放水路計画」が戦後の着手となり、様々な影響から変更され、最終的に常陸川水門（通称：逆出門）の完成によって淡水化は決定的となりました。

このような歴史を踏まえ、霞ヶ浦の自然や歴史、文化をはじめ、水質状況や汚濁原因、行政の浄化策や環境保全の取り組み等、平成30年度開催の世界湖沼会議について幅広く学んでいきます。

① 10/27 霞ヶ浦の風土と文化

かすみがうら市歴史博物館（学芸員）千葉 隆司

② 11/10 霞ヶ浦の植物

国立科学博物館筑波実験植物園（学習指導員）福田 良市

③ 11/24 汚染源から考える霞ヶ浦水質

茨城大学農学部地域総合農学科 教授 黒田 久雄

④ 12/8 私たちが出来る水質改善対策

黒田 久雄

⑤ 12/22 市民と行政の取り組み 茨城県環境対策課 課員

講座受講申込のてびき

申込期間

平成29年8月1日(火)～9月5日(火)

申込方法

下記の方法でお申込いただけます。（一度に複数講座のお申込が可能です。）

1 お電話・来所

受付時間 **9:00 ～ 17:00** TEL **029-826-1101**

※月曜日休館（祝日の場合はその翌日）

（県民大学受講手帳をお持ちの方はご用意ください。）

2 通常はがき

※**通常はがき**でお申込みください。（往復はがき不可）

※**料金不足**にご注意ください。

※平成29年9月5日当日消印有効。

3 講座申込専用メール

※当センターホームページの講座申込専用のフォームからお申込ください。それ以外は受付ておりません。

※受付確認メールが3日以内に届かない場合は、必ず電話でお問合せください。

4「茨城の生涯学習」のホームページ

<http://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/>（茨城県生涯学習情報提供システム）

記入例（表）

記入例（裏）

切手
62円

30000036

土浦市大和町9番1号
ウララビル5階

茨城県県南生涯学習センター
講座担当 行

①県民大学受講手帳の番号（ID番号）
※県民大学受講手帳をお持ちの方

②ご希望の講座番号・講座名
※複数申込可

③郵便番号・住所

④氏名（フリガナ）・性別・
生年月日

⑤電話番号（携帯電話可）

受講者の決定

（1）定員を上回った講座は当センターのシステムで厳正な抽選をし受講者を決定します。

（2）申込者には当落にかかわらず、結果を郵送にて通知いたします。

（3）受講者決定通知書（払込取扱票付）は複数の講座分を一括して封書にて送付いたします。

受講料等

（1）受講料は前納制となります。決定通知書に同封した払込取扱票により、初回講座の1週間前までにお支払いください。

（2）受講料納入後は、原則として返金できません。講座詳細を十分にご確認の上、お申込ください。

IC受講カードの廃止
及びお願いについて

平成23年度から講座の出席手続き等に使用していた受講カード（愛美館カード）は、平成29年3月31日をもって廃止とさせていただきます。

それとともないまして、受講カード発行時に預かり金（デポジット）としてお支払いいただきました500円をカード返却時に返金させていただきます。ご自身の受講カードを茨城県県南生涯学習センターまでご持参ください。

その他

（1）天候及び講師の病気等、やむをえない事情で講座の日程が変更になることがあります。

（2）開講式は各講座の第1回目に行います。

なお、詳細は受講者決定通知書でご連絡いたします。

（3）お申込の際にいただいた個人情報は、本講座の運営以外には使用いたしません。



特定非営利活動法人 ひと・まちなつとわーく

茨城県県南生涯学習センター

〒300-0036 茨城県土浦市大和町9番1号 ウララビル5階

TEL. **029-826-1101** (代)
FAX. **029-826-1728**

ホームページ: <http://www.kennan.gakusyu.ibk.ed.jp/>